



## フルート: 古賀 敦子

日本の福岡生まれのフルーティスト。桐朋学園高等学校を卒業後フランスのパリ国立高等音楽院に入学し、満場一致の一等賞で卒業した。パリの“ルーテス”と“ガストン・クルーネル”、またブカレストの“ジュネスミュージカル”その他で優勝、バルセロナの“マリア・カナルス”、東京の“ル・スプレンドル”、イタリアの“カルタニセッタ”等で第2位を受賞するなど、多数の国際コンクールで賞を得る。東京の桐朋フィルハーモニー、福岡の九州交響楽団、パリのCNSMオーケストラ、ブカレストのジュネスミュージカル交響楽団、またドイツではマゲデブルグ交響楽団、ミッテルドイチ室内交響楽団、ウィラ・ムジカ・アンサンブル、アスカニア交響楽団等とも数々のコンチェルトを行い、ソリストとしての定評を得る。2007年から毎年“シュトラッセ・デア・ロマニカ”シリーズでゲスト・ソリストとしてドイツの各地20箇所以上で共演。2018年にはブルガリアのソフィアソリスト、その他のオーケストラと共演し、大成功を博した。日本、ヨーロッパで行われる彼女のコンサートは、多くのラジオ、テレビ放送に定期的収録されている。

ウクライナ生まれのチェリスト。6歳で故郷のオデッサにてバレンティナ・バロンの元でチェロを始め、僅か2年後にウズベキスタン国際コンクールで優勝。その後も、クロアチアのアントニオ・ジャングロ・コンクールとオーストリアのヨハネス・ブラームスコンクール等を含む重要国際コンクールで優勝するなど、驚くべき数の賞を得ている。

13歳でドイツに渡り、彼が最も影響を受けた師であり、助言者でもあるライナー・ファウペルの元で研鑽を積む。その他、ニュルンベルグ国立音楽大学でジグムント・フォン・ハウゼガー教授、ボストンのニュー・イングランド・コンセルヴァトリーにてローレンス・レッサー氏、ミュンヘン国立音楽大学にてヴェン・シン・ヤング教授に師事。在学中にアメリカで協奏曲デビュー、またヨーロッパでも数々のリサイタルを行い、その多くがラジオやテレビ放送され、絶賛を博してCD録音され、今年夏には東京池袋の芸術劇場でのソリストデビューが決定している。



## チェロ: ゲオルギー・ロマコフ



## ピアノ: ラドスラフ・クレック

ポーランド生まれのピアニスト。グダニスクの音楽アカデミーにてカタジナ・ポポヴァ・ジドロン教授に師事し、栄誉賞を得て卒業。2008年から2009年までは彼女のクラスの助教授も務めた。現在はブドゴシュチュの音楽アカデミーで教鞭をとっている。

数多くのピアノと室内楽のコンクールで受賞経験があり、2008年にはゲオルギー・ロマコフとデュオでペルチャッハのヨハネス・ブラームス国際コンクールで優勝。2012年にはダブリン・ピアノコンクールでモーツァルト作品のベストプレイヤーとして“ブリジット・ドゥーラン特別賞”を受賞した。現在までにポーランドを中心として、オーストリア、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、スペインを舞台に、ソリストとして、また室内楽奏者として定期的リサイタルを行っている。DUX, Soliton, BeArTon、ミュンヘンのバイエルン放送での各種録音にも定評がある。

私たちYWCAはキリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を乗り越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOで、日本では全国24地域、道内では函館・札幌・釧路にYWCAがあり、独自の活動を展開しています。